

日商産一発 第77号

2012年2月29日

LOBO調査 実施商工会議所 御中

日本商工会議所

### LOBO調査（2012年2月分）の集計結果の送付について

先般実施いたしました標記調査の集計結果を下記の通りご報告いたします。  
 実施商工会議所各位におかれましては、本調査結果をヒアリング対象企業へ送付されるほか、会合等での資料として積極的にご活用くださるようお願いいたします。  
 なお、本調査結果（ブロック別概況部分を除く）につきましては、日商ホームページに掲載しておりますので、併せてご利用ください。  
 （アドレスは <http://www.jcci.or.jp/lobo/lobo.html> です。）

（本件担当） 産業政策第一部 須田・張替  
 TEL：03-3283-7839  
 FAX：03-3213-8716  
 E-mail:sangyo1@jcci.or.jp

### 商工会議所LOBO（早期景気観測）

――2012年2月調査結果――

○調査期間：2012年2月16日～22日  
 ○調査対象：全国の415商工会議所が2785企業にヒアリング  
 （東北については、被災を免れた企業や被害が軽微な企業から回答）

<産業別回収状況>				<ブロック別回収率>	
調査産業	調査対象数	回答数	回収率		
建設	421	239	55.1%	北海道	47.4%
製造	660	363	53.9%	東北	52.5%
卸売	294	166	53.1%	北陸信越	43.1%
小売	719	363	48.5%	関東	51.7%
サービス	691	363	50.1%	東海	58.8%
合計	2785	1494	51.6%	近畿	47.4%
				中国	53.5%
				四国	75.0%
				九州	48.0%

○調査項目：今月の売上・採算・業況等についての状況（DI値を集計）

※ DI値（景況判断指数）について

DI値は、売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

DI = (増加・好転などの回答割合) - (減少・悪化などの回答割合)  
 業況・採算：(好転) - (悪化)      売上：(増加) - (減少)

――【2012年2月調査結果のポイント】――

#### 業況DIは、足踏み状態が続く

2月の全産業合計の業況DIは、▲33.4と、前月から▲1.5ポイントと3ヵ月ぶりの悪化。製造業を中心に超円高に伴う輸出減少等の影響により、2011年10月以降、業況DIは▲35前後で足踏み状態に陥っている。

先行きについては、先行き見通しDIが▲28.2（今月比+5.2ポイント）と、改善する見込み。海外経済の回復や超円高の是正、年度末・新年度を迎えることによる消費への期待感がでている。一方、第三次補正予算による復興需要の波及効果は徐々に及んでいるものの、本格化には至っていないことに加え、依然として厳しい水準にある円高や原油等の原材料価格の高止まりにより、先行きを懸念する声も多い。

ブロック・産業別業況DI（前年同月比：2012年2月）

	全業種	建設	製造	卸売	小売	サービス
全 国	▲ 33.4	▲ 29.1	▲ 27.6	▲ 27.6	▲ 42.0	▲ 36.2
北 海 道	▲ 28.6	▲ 5.6	▲ 35.7	▲ 37.5	▲ 34.8	▲ 32.1
東 北	▲ 25.6	4.8	▲ 26.7	▲ 37.5	▲ 13.3	▲ 57.1
北陸信越	▲ 41.0	▲ 43.3	▲ 28.6	▲ 35.3	▲ 50.0	▲ 45.5
関 東	▲ 32.4	▲ 16.7	▲ 26.6	▲ 21.6	▲ 48.5	▲ 37.0
東 海	▲ 27.1	▲ 26.3	▲ 19.0	▲ 25.0	▲ 43.3	▲ 24.2
近 畿	▲ 31.8	▲ 33.3	▲ 17.0	▲ 6.3	▲ 41.7	▲ 50.0
中 国	▲ 51.4	▲ 53.8	▲ 34.3	▲ 46.7	▲ 59.3	▲ 76.5
四 国	▲ 37.6	▲ 47.4	▲ 32.3	▲ 33.3	▲ 48.3	▲ 27.6
九 州	▲ 29.5	▲ 70.0	▲ 46.4	▲ 31.3	▲ 26.5	9.7

ブロック・産業別業況DI（先行き見通し：2012年3～5月）

上段：2012年2月時点

下段：2011年2月時点

	全業種	建設	製造	卸売	小売	サービス
全 国	▲ 28.2	▲ 33.3	▲ 25.4	▲ 20.5	▲ 33.7	▲ 25.7
北 海 道	▲ 34.3	▲ 47.2	▲ 33.3	▲ 23.1	▲ 32.4	▲ 33.3
東 北	▲ 31.9	▲ 44.4	▲ 7.1	▲ 37.5	▲ 39.1	▲ 28.6
東 北	▲ 36.4	▲ 31.3	▲ 64.3	▲ 37.5	▲ 26.1	▲ 33.3
東 北	▲ 13.7	▲ 19.0	▲ 20.0	▲ 12.5	0.0	▲ 17.9
北陸信越	▲ 34.4	▲ 31.3	▲ 45.8	▲ 16.7	▲ 26.9	▲ 37.5
北陸信越	▲ 32.3	▲ 50.0	▲ 14.3	▲ 23.5	▲ 26.9	▲ 40.6
北陸信越	▲ 35.7	▲ 40.7	▲ 30.6	▲ 30.8	▲ 42.5	▲ 31.6
関 東	▲ 27.0	▲ 21.2	▲ 28.7	▲ 21.6	▲ 40.0	▲ 19.6
関 東	▲ 30.5	▲ 48.4	▲ 31.5	▲ 20.0	▲ 21.2	▲ 29.9
東 海	▲ 30.0	▲ 10.5	▲ 33.3	▲ 37.5	▲ 40.0	▲ 24.2
東 海	▲ 26.7	▲ 50.0	▲ 25.0	▲ 6.7	▲ 20.7	▲ 27.3
近 畿	▲ 30.2	▲ 37.5	▲ 28.3	0.0	▲ 33.3	▲ 36.8
近 畿	▲ 41.5	▲ 47.6	▲ 32.7	▲ 50.0	▲ 43.9	▲ 42.2
中 国	▲ 37.4	▲ 38.5	▲ 34.3	▲ 20.0	▲ 44.4	▲ 47.1
中 国	▲ 40.4	▲ 54.5	▲ 36.4	▲ 35.7	▲ 35.7	▲ 50.0
四 国	▲ 23.9	▲ 42.1	▲ 9.7	0.0	▲ 41.4	▲ 17.2
四 国	▲ 31.7	▲ 57.1	▲ 21.4	0.0	▲ 35.7	▲ 32.4
九 州	▲ 30.0	▲ 57.1	▲ 28.6	▲ 25.0	▲ 26.5	▲ 19.4
九 州	▲ 36.8	▲ 59.1	▲ 36.4	▲ 9.1	▲ 41.0	▲ 25.8

※「先行き見通し」は当月に比した向こう3カ月の先行き見通しDI（以下同じ）

産業別にみると、業況DIは、建設業、サービス業はほぼ横ばいとなったものの、他の3業種はマイナス幅が拡大。

○各業種から寄せられた特徴的なコメントは以下のとおり。

【建設業】「復旧・復興工事の増加に伴い、鉄筋、型枠の職人や重機オペレーターが不足している」（一般工事業）、「豪雪により、土木工事現場での除雪費用の負担が増大」（一般工事業）、「住宅エコポイント制度に加え、市独自の住宅リフォーム補助金により、リフォーム工事が増加」（一般工事業）

【製造業】「円高の影響で、中近東向けの輸出品（生地）が落ち込んでいる」（織物製造業）、「円高に伴い、取引先からの単価の値下げ要請が強まっている」（計量器・測定器製造業）、「取引先の海外生産の加速に対応するため、自社も海外工場の生産能力を増強する計画」（自動車部品製造業）

【卸売業】「今年に入り鋼材の在庫が増加、流通価格が下落している」（鋼材卸売業）、「寒波により野菜の出荷量が減少。仕入価格が高騰しているが、価格転嫁は困難」（食品卸売業）、「建築資材の需要が拡大しているが、確保が難しい状況が続いている」（建築材卸売業）

【小売業】「厳しい寒さの影響で春物衣料の動きが鈍い」（商店街）、「イラン問題が原油価格の高騰に繋がることを懸念」（燃料小売店）、「仕入先の海外調達が多くなっているため、商品の欠品期間の長期化、入荷遅れなど、販売に支障が出ている」（スポーツ用品店）

【サービス業】「大雪の影響で客足が落ち込んでおり、今後の資金繰りを懸念」（飲食店）、「地元の輸出関連企業の不振によりビジネス客が減少。客室の稼働率が悪化している」（旅館）、「土木・建設業の現場作業員と競合することから人材確保が当面の課題」（警備業）

【業況についての判断】

○2月の景況をみると、全産業合計の業況DI（前年同月比ベース、以下同じ）は▲33.4（前月比▲1.5ポイント）と、3カ月ぶりにマイナス幅が拡大。産業別にみると、製造業は、海外経済の減速に加え、超円高による輸出減少や取引先の海外調達加速により受注が減少していることから業況が悪化。卸売業は、震災以降続いた低水準からは回復しているものの、復興関連で建築資材等の仕入価格が高止まりしていること、寒波と大雪で農産物の取扱量が減少していること等により当月はマイナス幅が拡大。建設業は、住宅エコポイント制度の再開に伴い、リフォーム工事等の受注が一部に見られるが、技能者不足による受注機会の喪失、人件費の高騰等により業況の改善が遅れている。

○向こう3カ月（3～5月）の先行き見通しは、全産業合計の業況DI（今月比ベース）は▲28.2（今月比+5.2ポイント）と、改善する見込み。

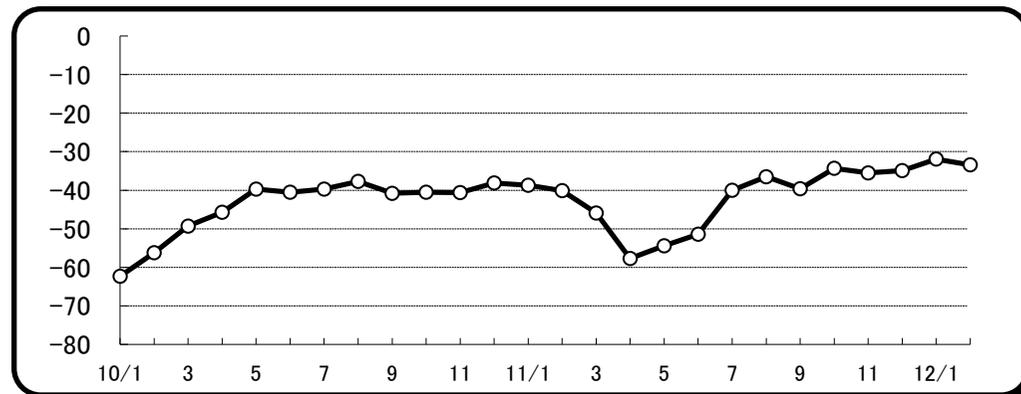
○産業別に先行き見通しをみると、建設業は、第三次補正予算による復興需要の波及効果は徐々に及んでいるものの、本格化には至っていないことからマイナス幅が拡大。一方、小売業、サービス業は年度末・新年度を迎えることによる消費への期待感から、業況の改善を見込んでいる。

業況DI（前年同月比）の推移

	11年		12年		先行き見通し		
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3～5月
全産業	▲39.6	▲34.3	▲35.5	▲34.9	▲31.9	▲33.4	▲28.2
建設	▲38.2	▲30.7	▲30.1	▲34.0	▲29.0	▲29.1	▲33.3
製造	▲33.5	▲26.2	▲29.2	▲24.8	▲25.6	▲27.6	▲25.4
卸売	▲34.7	▲38.8	▲32.9	▲35.9	▲22.3	▲27.6	▲20.5
小売	▲45.8	▲37.6	▲44.1	▲42.5	▲40.3	▲42.0	▲33.7
サービス	▲42.8	▲39.4	▲38.0	▲37.7	▲36.2	▲36.2	▲25.7

※「先行き見通し」は当月に比べた向こう3カ月の先行き見通しDI

《業況DI（全産業・前年同月比）の推移》



【売上（受注・出荷）についての判断】

○売上面では、全産業合計の売上DIは▲29.0（前月比▲3.0ポイント）と、マイナス幅は2カ月連続で拡大。産業別にみると、建設業、製造業は、ほぼ横ばい。一方、卸売業は、震災以降続いた低水準からは回復しているものの、寒波と大雪で農産物の取扱量が減少していること等により当月はマイナス幅が拡大。小売業、サービス業についても寒波と大雪の影響により、来店客、観光客が減少したことで売上が落ち込んだことによりマイナス幅が拡大。

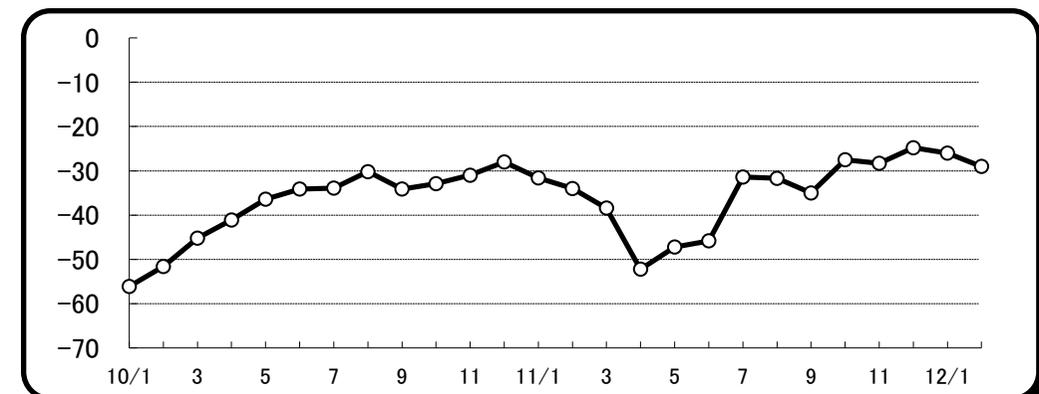
○向こう3カ月（3～5月）の先行き見通しについては、全産業合計の売上DI（今月比ベース）は▲19.5（今月比+9.5ポイント）と、大幅に改善する見込み。ただし、内訳をみると、「悪化」から「不変」への変化が主であり、これ以上の悪化がないことへの期待感が強い。

○産業別に先行き見通しをみると、今月と比べ、建設業は第三次補正予算による復興需要の波及効果は徐々に及んでいるものの、本格化には至っていないことからマイナス幅が拡大。他の4業種は縮小する見込み。

売上（受注・出荷）DI（前年同月比）の推移

	11年		12年		先行き見通し		
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3～5月
全産業	▲35.0	▲27.5	▲28.3	▲24.8	▲26.0	▲29.0	▲19.5
建設	▲36.4	▲26.6	▲24.1	▲24.0	▲24.3	▲24.7	▲29.3
製造	▲23.0	▲13.7	▲13.0	▲11.0	▲19.6	▲20.2	▲14.9
卸売	▲32.7	▲29.7	▲22.6	▲23.7	▲22.9	▲28.4	▲5.8
小売	▲44.6	▲32.0	▲41.8	▲32.5	▲31.7	▲36.8	▲26.1
サービス	▲37.9	▲36.3	▲35.7	▲32.2	▲29.2	▲33.5	▲17.1

《売上（受注・出荷）DI（全産業・前年同月比）の推移》



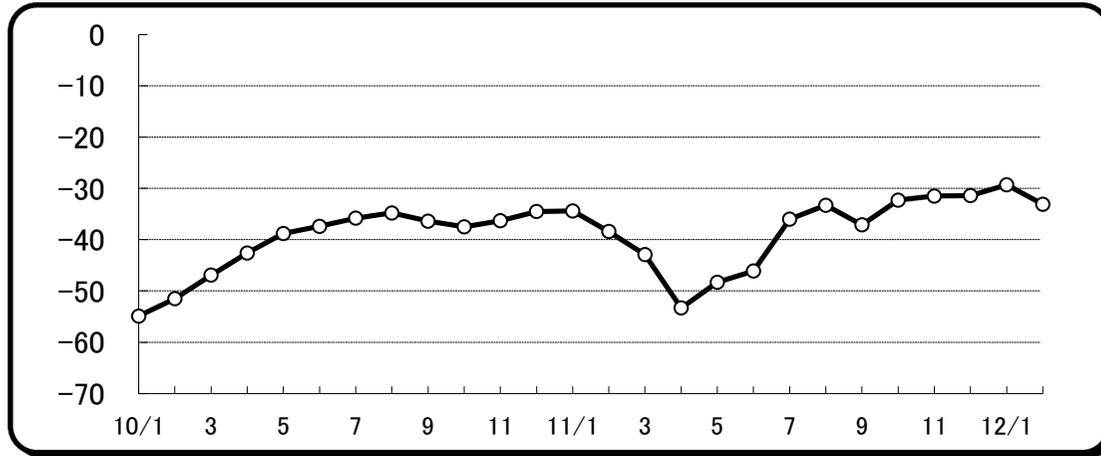
【採算の状況についての判断】

○採算面では、全産業合計の採算DIは▲33.1（前月比▲3.8ポイント）と、前月からマイナス幅が拡大。産業別にみても全業種でマイナス幅が拡大している。建設業は、技能者不足による人件費の高騰、製造業は、海外経済の減速に加え、超円高による輸出の落ち込み、卸売業、小売業、サービス業では寒波と大雪の影響により、農産物の取扱量の減少、来店客・観光客が減少したことで売上が落ち込んだことから採算が悪化。  
○向こう3カ月（3～5月）の先行き見通しについては、全産業合計の採算DI（今月比ベース）は▲24.3と、今月から+8.8ポイントの改善を見込んでいる。  
○産業別に先行き見通しをみると、今月と比べ、全ての業種でマイナス幅が縮小する見込み。

採算DI（前年同月比）の推移

	11年 9月	10月	11月	12月	12年 1月	2月	先行き見通し 3～5月
全産業	▲37.1	▲32.3	▲31.5	▲31.4	▲29.3	▲33.1	▲24.3
建設	▲40.1	▲38.2	▲35.0	▲36.9	▲31.6	▲35.2	▲33.3
製造	▲32.9	▲24.9	▲24.2	▲22.3	▲24.0	▲26.7	▲23.7
卸売	▲30.7	▲28.4	▲28.3	▲26.3	▲20.5	▲27.6	▲11.7
小売	▲39.4	▲31.8	▲34.2	▲35.2	▲32.6	▲37.2	▲24.8
サービス	▲40.1	▲38.4	▲35.8	▲36.2	▲34.0	▲36.7	▲23.8

《採算DI（全産業・前年同月比）の推移》



(参考)

資金繰りDI（前年同月比）の推移

	11年 9月	10月	11月	12月	12年 1月	2月	先行き見通し 3～5月
全産業	▲24.4	▲22.2	▲21.2	▲21.3	▲20.4	▲19.5	▲19.1
建設	▲33.7	▲29.0	▲23.3	▲29.4	▲24.5	▲21.9	▲24.5
製造	▲21.4	▲17.6	▲15.5	▲11.4	▲16.2	▲15.3	▲17.8
卸売	▲14.1	▲17.7	▲20.4	▲15.5	▲12.1	▲10.3	▲8.4
小売	▲24.1	▲23.2	▲23.0	▲24.8	▲23.0	▲24.0	▲21.0
サービス	▲26.5	▲23.5	▲24.3	▲25.9	▲23.2	▲22.1	▲19.8

DI = (好転の回答割合) - (悪化の回答割合)

【前年同月比DI】全産業合計の資金繰りDIは▲19.5と、前月からほぼ横ばいで推移。産業別にみると、建設業、卸売業、サービス業はマイナス幅が縮小するものの、製造業はほぼ横ばい、小売業は拡大した。  
【先行き見通しDI】全産業合計の先行き見通しをみると、マイナス幅は今月と比べほぼ横ばいで推移する見込み。産業別にみると、建設業、製造業はマイナス幅が拡大するものの、他の3業種は縮小する見込み。

仕入単価DI（前年同月比）の推移

	11年 9月	10月	11月	12月	12年 1月	2月	先行き見通し 3～5月
全産業	▲30.0	▲27.8	▲25.8	▲23.3	▲25.6	▲21.6	▲21.4
建設	▲35.1	▲34.3	▲31.4	▲30.9	▲31.4	▲30.0	▲33.8
製造	▲40.2	▲35.6	▲33.8	▲32.9	▲30.4	▲26.1	▲23.0
卸売	▲29.5	▲22.3	▲25.2	▲17.9	▲23.6	▲10.3	▲14.9
小売	▲21.0	▲19.8	▲15.2	▲12.9	▲17.3	▲15.1	▲13.1
サービス	▲25.7	▲26.7	▲25.1	▲22.1	▲26.0	▲23.1	▲22.9

DI = (下落の回答割合) - (上昇の回答割合)

【前年同月比DI】全産業合計の仕入単価DIは▲21.6と、前月からマイナス幅が縮小。産業別にみても全業種でマイナス幅が縮小。卸売業は、マイナス幅が大幅に縮小しているが、内訳をみると、「上昇」から「不変」への変化が主であり、総じて仕入単価は高止まりしている。  
【先行き見通しDI】全産業合計の先行き見通しをみると、マイナス幅は今月とほぼ横ばいで推移する見込み。産業別にみると、建設業、卸売業はマイナス幅が拡大、製造業、小売業は縮小、サービス業はほぼ横ばいの見込み。

従業員DI（前年同月比）の推移

	11年 9月	10月	11月	12月	12年 1月	2月	先行き見通し 3～5月
全産業	▲4.6	▲4.3	▲3.4	▲3.8	▲2.2	▲2.8	▲2.5
建設	▲13.2	▲4.8	▲2.2	▲8.8	▲4.3	▲5.7	▲5.7
製造	▲4.3	▲3.7	▲6.8	▲6.7	▲5.5	▲4.8	▲5.6
卸売	▲8.0	▲8.8	▲5.7	▲9.6	▲6.0	▲5.1	▲6.5
小売	0.0	▲3.5	▲1.9	2.0	0.8	0.3	2.3
サービス	▲2.5	▲3.4	▲1.2	▲1.2	1.1	▲0.9	▲0.3

DI = (不足の回答割合) - (過剰の回答割合)

【前年同月比DI】全産業合計の従業員DIは▲2.8と、前月からほぼ横ばい。産業別にみると、建設業、サービス業はマイナス幅が拡大しているが、DIはマイナス桁台での推移であり過剰感が強まっているわけではない。他の3業種はほぼ横ばい。  
【先行き見通しDI】全産業合計の先行き見通しをみると、マイナス幅は今月と比べほぼ横ばいで推移する見込み。産業別にみると、建設業、製造業、サービス業はほぼ横ばい、卸売業はマイナス幅が拡大、小売業は不足感が強まる見込み。

## 2012年2月

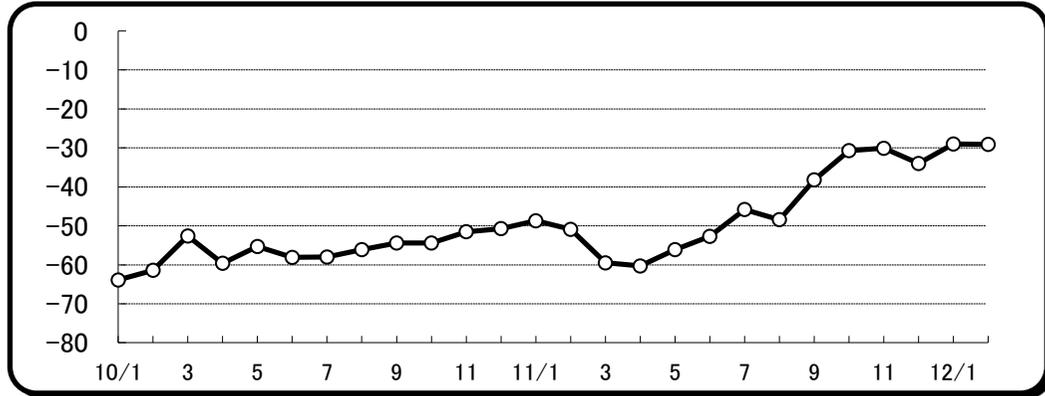
	売上(受注・出荷)		採算		資金繰り		仕入単価		従業員		業況	
	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き
全業種												
全国	-29.0	-19.5	-33.1	-24.3	-19.5	-19.1	-21.6	-21.4	-2.8	-2.5	-33.4	-28.2
北海道	-30.4	-23.9	-26.4	-20.9	-17.6	-18.9	-23.3	-21.1	-5.5	-9.9	-28.6	-31.9
東北	-23.1	-8.5	-29.1	-14.5	-18.1	-11.2	-29.1	-29.9	0.0	0.0	-25.6	-13.7
北陸信越	-38.3	-24.1	-39.6	-28.0	-29.1	-26.3	-24.8	-24.2	-8.2	-3.0	-41.0	-32.3
関東	-25.4	-18.1	-32.8	-26.0	-17.4	-17.3	-22.7	-23.4	-0.7	-2.6	-32.4	-27.0
東海	-26.4	-15.0	-33.6	-22.9	-12.5	-14.0	-13.8	-18.1	0.7	2.1	-27.1	-30.0
近畿	-31.8	-25.3	-31.5	-27.7	-18.8	-21.8	-17.5	-19.8	-2.2	0.0	-31.8	-30.2
中国	-48.6	-29.0	-43.9	-28.0	-28.3	-28.3	-15.2	-12.4	-16.8	-13.1	-51.4	-37.4
四国	-26.5	-17.9	-36.8	-24.8	-24.8	-20.5	-23.1	-22.2	-1.7	0.9	-37.6	-23.9
九州	-20.8	-16.9	-25.4	-19.2	-15.5	-17.7	-24.8	-17.1	1.6	-1.6	-29.5	-30.0
建設												
全国	-24.7	-29.3	-35.2	-33.3	-21.9	-24.5	-30.0	-33.8	-5.7	-5.7	-29.1	-33.3
北海道	-26.3	-47.4	-11.1	-38.9	-11.1	-33.3	-23.5	-23.5	-16.7	-33.3	-5.6	-44.4
東北	9.5	0.0	-19.0	-23.8	-14.3	0.0	-52.4	-61.9	9.5	0.0	4.8	-19.0
北陸信越	-40.0	-36.7	-40.0	-53.3	-43.3	-50.0	-26.7	-36.7	-16.7	-16.7	-43.3	-50.0
関東	-12.1	-19.7	-28.8	-19.7	-13.8	-15.4	-40.6	-39.1	0.0	4.7	-16.7	-21.2
東海	-26.3	-10.5	-42.1	-15.8	-10.5	-10.5	10.5	-5.3	10.5	10.5	-26.3	-10.5
近畿	-41.7	-37.5	-37.5	-25.0	-16.7	-8.3	-8.3	-20.8	-25.0	-12.5	-33.3	-37.5
中国	-46.2	-30.8	-53.8	-30.8	-23.1	-30.8	-46.2	-38.5	-7.7	-7.7	-53.8	-38.5
四国	-26.3	-52.6	-47.4	-63.2	-36.8	-42.1	-31.6	-26.3	-5.3	5.3	-47.4	-42.1
九州	-40.0	-47.6	-55.0	-52.4	-36.8	-45.0	-35.0	-38.1	-5.0	-19.0	-70.0	-57.1
製造												
全国	-20.2	-14.9	-26.7	-23.7	-15.3	-17.8	-26.1	-23.0	-4.8	-5.6	-27.6	-25.4
北海道	-35.7	0.0	-35.7	-7.1	-28.6	-7.1	-35.7	-14.3	-14.3	-14.3	-35.7	-7.1
東北	-20.0	-13.3	-26.7	-16.7	-10.0	-13.3	-36.7	-40.0	-6.7	0.0	-26.7	-20.0
北陸信越	-35.7	-10.7	-32.1	-10.7	-21.4	-17.9	-35.7	-35.7	-10.7	0.0	-28.6	-14.3
関東	-17.9	-18.9	-26.3	-34.0	-9.5	-18.9	-31.6	-25.3	-2.1	-6.4	-26.6	-28.7
東海	-16.7	-9.5	-21.4	-23.8	-9.8	-14.6	-14.3	-21.4	0.0	-7.1	-19.0	-33.3
近畿	-15.1	-21.2	-11.3	-25.0	-17.6	-23.5	-30.2	-20.8	-3.8	-1.9	-17.0	-28.3
中国	-14.3	-22.9	-34.3	-28.6	-17.1	-20.0	0.0	-2.9	-8.6	-20.0	-34.3	-34.3
四国	-22.6	-3.2	-35.5	-12.9	-25.8	-19.4	-16.1	-19.4	3.2	6.5	-32.3	-9.7
九州	-25.0	-14.3	-35.7	-21.4	-17.9	-14.3	-35.7	-25.0	-14.3	-10.7	-46.4	-28.6

## 2012年2月

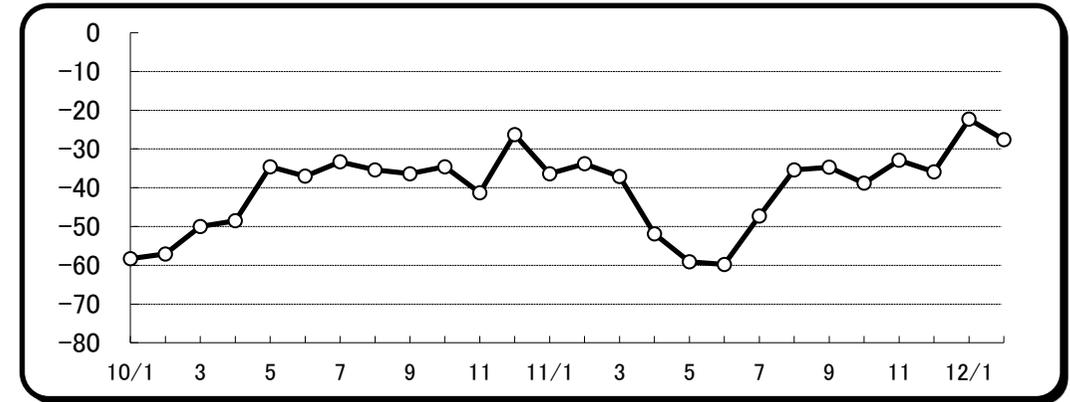
	売上(受注・出荷)		採算		資金繰り		仕入単価		従業員		業況	
	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き
卸売												
全国	-28.4	-5.8	-27.6	-11.7	-10.3	-8.4	-10.3	-14.9	-5.1	-6.5	-27.6	-20.5
北海道	-12.5	0.0	-25.0	0.0	-12.5	-12.5	-50.0	-37.5	0.0	-12.5	-37.5	-37.5
東北	-37.5	0.0	-37.5	0.0	-37.5	-12.5	-25.0	-25.0	-12.5	-12.5	-37.5	-12.5
北陸信越	-25.0	0.0	-17.6	-6.3	-23.5	-5.9	-11.8	0.0	0.0	11.8	-35.3	-23.5
関東	-27.5	-5.9	-29.4	-13.7	-9.8	-7.8	-11.8	-21.6	-9.8	-15.7	-21.6	-21.6
東海	-12.5	-6.3	-37.5	-31.3	-6.7	-13.3	-6.3	-18.8	-12.5	-6.3	-25.0	-37.5
近畿	-6.3	-12.5	-12.5	-6.3	0.0	-12.5	25.0	-12.5	6.3	0.0	-6.3	0.0
中国	-73.3	-26.7	-46.7	-20.0	-13.3	-13.3	0.0	0.0	-13.3	-13.3	-46.7	-20.0
四国	-44.4	11.1	-22.2	0.0	-11.1	11.1	-33.3	-22.2	0.0	-11.1	-33.3	0.0
九州	-25.0	0.0	-18.8	-6.7	6.3	-6.3	-12.5	0.0	6.3	13.3	-31.3	-25.0
小売												
全国	-36.8	-26.1	-37.2	-24.8	-24.0	-21.0	-15.1	-13.1	0.3	2.3	-42.0	-33.7
北海道	-34.8	-34.8	-21.7	-13.0	-13.0	-18.2	-13.0	-13.0	-4.3	-4.3	-34.8	-39.1
東北	-3.3	0.0	-13.3	-6.7	-17.2	-3.4	-16.7	-13.3	-6.7	0.0	-13.3	0.0
北陸信越	-34.6	-19.2	-46.2	-26.9	-26.9	-23.1	0.0	0.0	0.0	0.0	-50.0	-26.9
関東	-36.6	-30.7	-40.6	-29.7	-28.6	-22.2	-9.9	-12.0	9.0	8.0	-48.5	-40.0
東海	-43.3	-36.7	-46.7	-30.0	-13.8	-13.8	-26.7	-16.7	3.3	6.7	-43.3	-40.0
近畿	-50.0	-27.1	-42.6	-31.9	-27.3	-29.5	-19.6	-23.9	-4.2	-2.1	-41.7	-33.3
中国	-59.3	-37.0	-33.3	-22.2	-42.3	-42.3	-15.4	-7.7	-29.6	-7.4	-59.3	-44.4
四国	-34.5	-31.0	-48.3	-31.0	-17.2	-20.7	-27.6	-20.7	3.4	0.0	-48.3	-41.4
九州	-29.4	-11.8	-29.4	-14.7	-17.6	-11.8	-14.7	-5.9	8.8	5.9	-26.5	-26.5
サービス												
全国	-33.5	-17.1	-36.7	-23.8	-22.1	-19.8	-23.1	-22.9	-0.9	-0.3	-36.2	-25.7
北海道	-32.1	-17.9	-35.7	-28.6	-21.4	-17.9	-17.9	-25.0	3.6	3.6	-32.1	-28.6
東北	-67.9	-21.4	-53.6	-17.9	-25.0	-25.0	-17.9	-14.3	10.7	3.6	-57.1	-17.9
北陸信越	-48.5	-40.6	-51.5	-31.3	-27.3	-25.0	-40.6	-35.5	-9.1	-3.1	-45.5	-40.6
関東	-28.7	-10.2	-35.2	-25.2	-20.0	-17.1	-21.3	-24.1	-4.7	-7.5	-37.0	-19.6
東海	-30.3	-9.1	-30.3	-15.2	-18.8	-15.6	-19.4	-22.6	0.0	9.1	-24.2	-24.2
近畿	-36.8	-26.3	-50.0	-36.8	-20.0	-22.9	-21.1	-15.8	13.2	13.2	-50.0	-36.8
中国	-82.4	-29.4	-70.6	-41.2	-47.1	-35.3	-35.3	-29.4	-23.5	-11.8	-76.5	-47.1
四国	-17.2	-6.9	-24.1	-13.8	-27.6	-17.2	-17.2	-24.1	-10.3	-3.4	-27.6	-17.2
九州	6.3	-12.5	3.1	-6.3	-9.4	-15.6	-25.8	-16.1	9.7	3.2	9.7	-19.4

# 業況DI（前年同月比）の推移（全国）

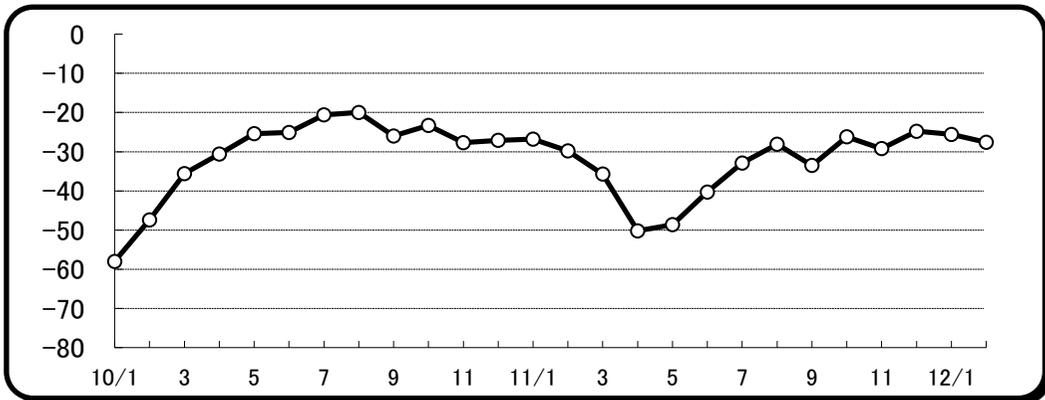
## 建設業



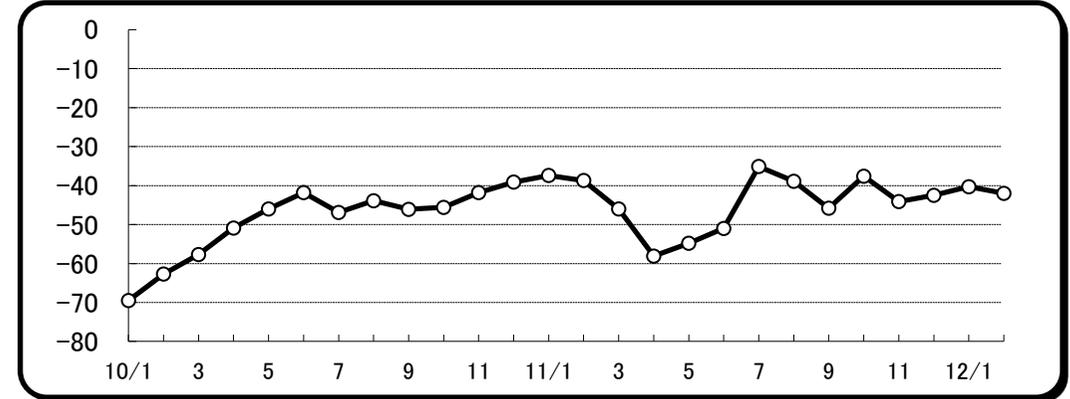
## 卸売業



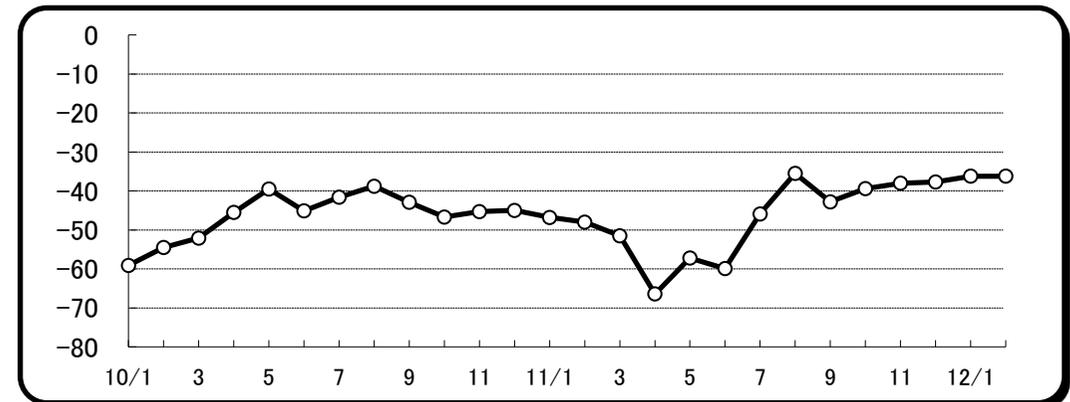
## 製造業



## 小売業



## サービス業



【ブロック別概況・北海道】

○全産業の業況DIは、前月と比べほぼ横ばいで推移。産業別では、建設業はマイナス幅が縮小したものの、他の4業種は拡大した。  
 ○建築工事業からは、「建築確認件数は昨年12月までは前年比で上回るも、今年1、2月は減少。今後、住宅建築は厳しい見通し」とのコメント。商店街からは、「厳しい寒さにより、暖房器具を買い換える動きが多い」とのコメント。飲食店からは、「地元の雪まつりが開催されたが、売上には繋がらなかった」との声、自動車整備業からは、「エコカー補助金により新車販売が増加することで、点検整備の自動車が増加。売上への影響を懸念」とのコメントが寄せられた。  
 ○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月からマイナス幅が拡大する見込み。産業別にみると、建設、小売はマイナス幅が拡大するものの、卸売は横ばい、製造、サービスは縮小する見込み。

全産業DI（前年同月比）の推移

	11年 9月	10月	11月	12月	12年 1月	2月	先行き見通し 3～5月
業況	▲ 37.7	▲ 31.1	▲ 38.7	▲ 39.2	▲ 29.5	▲ 28.6	▲ 31.9
売上	▲ 32.9	▲ 29.3	▲ 42.1	▲ 24.0	▲ 24.5	▲ 30.4	▲ 23.9
採算	▲ 36.2	▲ 28.4	▲ 29.3	▲ 32.4	▲ 22.9	▲ 26.4	▲ 20.9
資金繰り	▲ 21.7	▲ 23.6	▲ 23.0	▲ 21.9	▲ 12.5	▲ 17.6	▲ 18.9
仕入単価	▲ 23.2	▲ 17.6	▲ 20.3	▲ 18.9	▲ 27.2	▲ 23.3	▲ 21.1
従業員	▲ 13.0	▲ 5.4	▲ 6.7	▲ 9.5	▲ 8.6	▲ 5.5	▲ 9.9

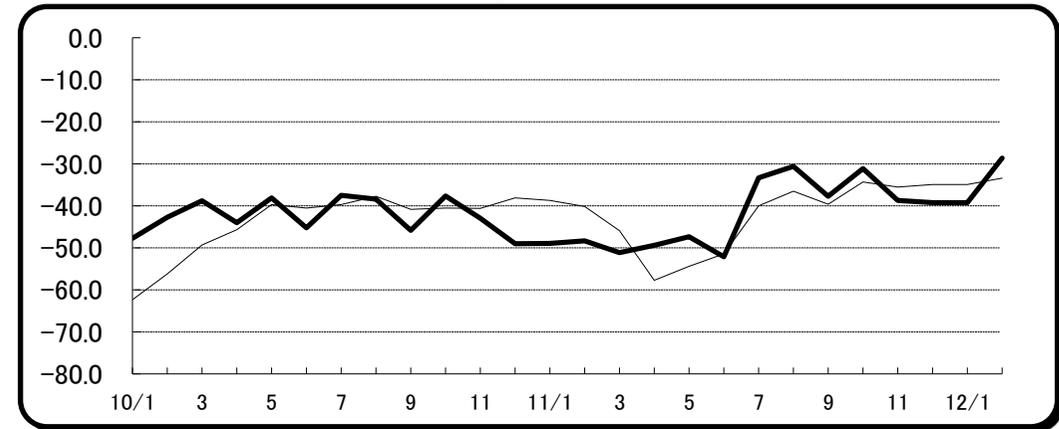
産業別業況DI（前年同月比）の推移

	11年 9月	10月	11月	12月	12年 1月	2月	先行き見通し 3～5月
建設	▲ 53.8	▲ 28.6	▲ 42.9	▲ 30.8	▲ 28.6	▲ 5.6	▲ 44.4
製造	▲ 54.5	▲ 53.8	▲ 58.3	▲ 33.3	▲ 31.6	▲ 35.7	▲ 7.1
卸売	▲ 14.3	▲ 50.0	▲ 25.0	▲ 50.0	▲ 22.2	▲ 37.5	▲ 37.5
小売	▲ 42.1	▲ 23.8	▲ 45.0	▲ 28.6	▲ 33.3	▲ 34.8	▲ 39.1
サービス	▲ 21.1	▲ 20.0	▲ 23.8	▲ 55.0	▲ 27.6	▲ 32.1	▲ 28.6

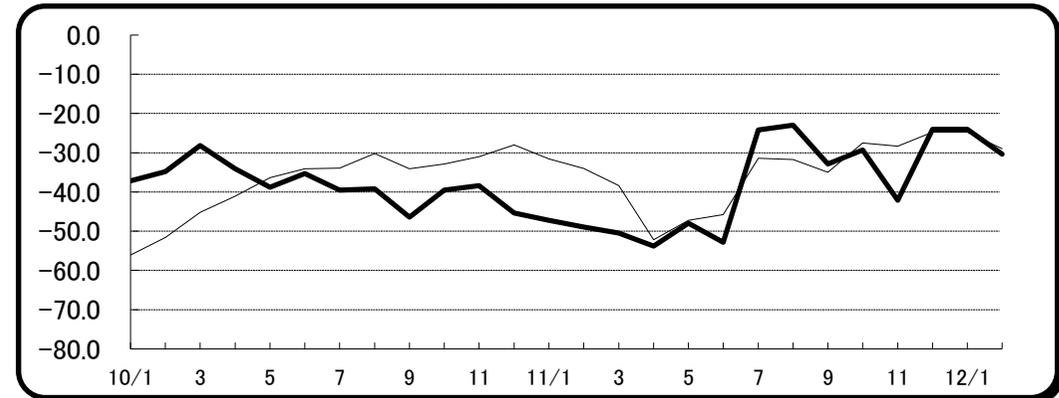
ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（北海道）

—— 北海道    —— 全国

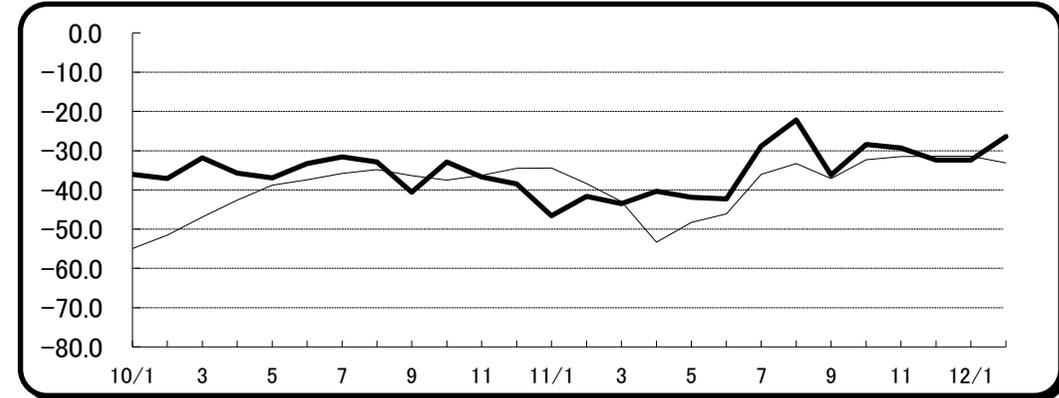
業況



売上



採算



【ブロック別概況・東北】

○全産業の業況DIは、前月と比べマイナス幅が悪化。産業別にみても、全ての業種でマイナス幅が悪化した。  
 ○一般工事業からは、「職人不足による人件費の高騰、原材料価格の上昇により採算が悪化」とのコメント。家具製造業からは、「復興が本格的に動き出すことで、建築資材がさらに値上がりすることを懸念」とのコメント。印刷業からは、「原発事故の風評により売上が減少。長期化の見通しで今後の計画を立てることができない」との声、商店街からは、「2月の大雪により客足が悪く、バーゲンセールも不調」とのコメントが寄せられた。  
 ○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月からマイナス幅が縮小する見込み。産業別にみると、建設業は業況が悪化するものの、他の4業種は改善する見込み。

全産業DI（前年同月比）の推移

	11年 9月	10月	11月	12月	12年 1月	2月	先行き見通し 3～5月
業況	▲ 24.7	▲ 18.5	▲ 13.0	▲ 18.9	▲ 10.9	▲ 25.6	▲ 13.7
売上	▲ 18.5	▲ 5.6	▲ 1.7	▲ 18.0	▲ 10.9	▲ 23.1	▲ 8.5
採算	▲ 32.3	▲ 18.5	▲ 19.1	▲ 25.2	▲ 15.0	▲ 29.1	▲ 14.5
資金繰り	▲ 18.7	▲ 20.6	▲ 14.0	▲ 23.6	▲ 15.0	▲ 18.1	▲ 11.2
仕入単価	▲ 34.4	▲ 32.4	▲ 29.6	▲ 28.8	▲ 36.6	▲ 29.1	▲ 29.9
従業員	0.0	▲ 0.9	8.7	3.6	7.9	0.0	0.0

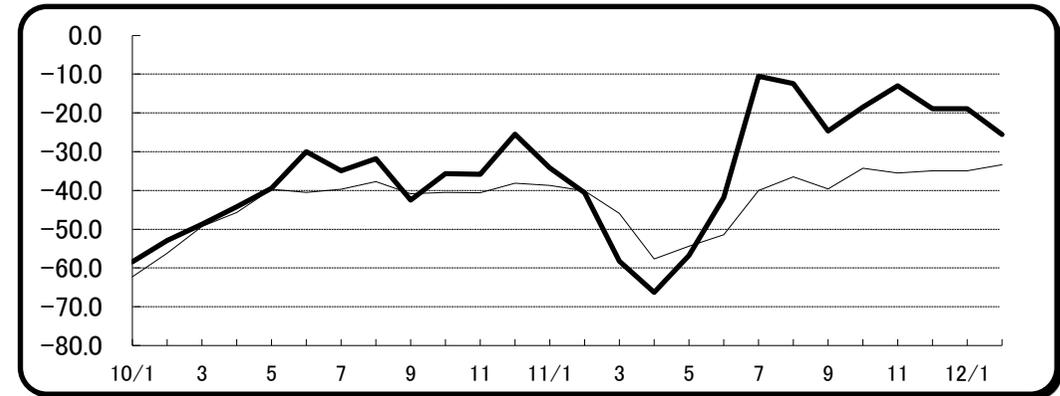
産業別業況DI（前年同月比）の推移

	11年 9月	10月	11月	12月	12年 1月	2月	先行き見通し 3～5月
建設	23.5	21.1	22.7	10.5	10.5	4.8	▲ 19.0
製造	▲ 42.9	▲ 25.9	▲ 23.3	▲ 35.7	▲ 8.3	▲ 26.7	▲ 20.0
卸売	0.0	▲ 30.0	10.0	▲ 22.2	▲ 14.3	▲ 37.5	▲ 12.5
小売	▲ 28.0	▲ 11.5	▲ 9.7	▲ 11.1	▲ 12.0	▲ 13.3	0.0
サービス	▲ 50.0	▲ 42.3	▲ 50.0	▲ 28.6	▲ 26.9	▲ 57.1	▲ 17.9

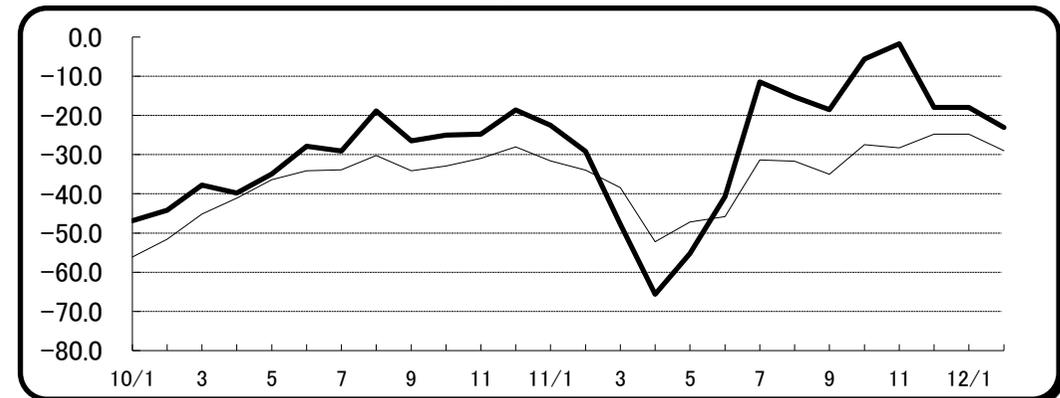
ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（東北）

—— 東北      —— 全国

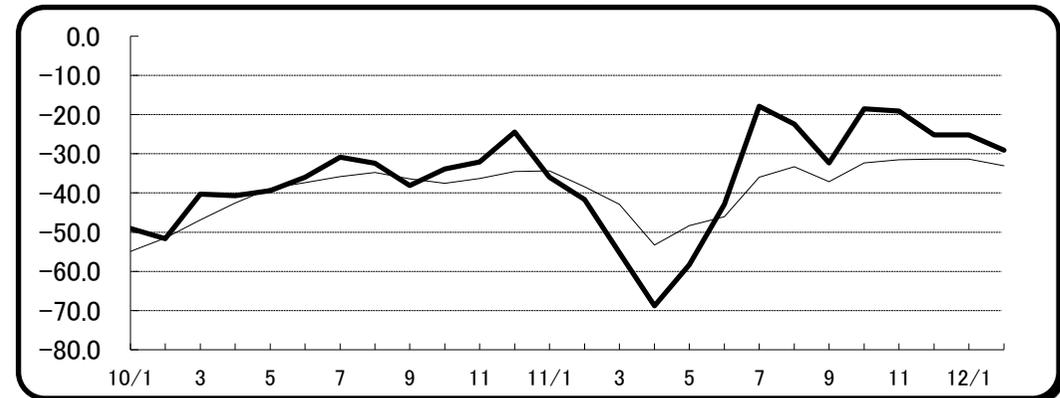
業況



売上



採算



【ブロック別概況・北陸信越】

○全産業の業況DIは、前月と比べマイナス幅が拡大。産業別にみても、全ての業種でマイナス幅が拡大した。  
 ○建築工事業からは、「労働者が高齢化している。若い人材を採用したいが集まらない。」とのコメント。金属加工業からは、「超円高の定着により海外移転、現地調達が加速することで、内需が縮小することを懸念」とのコメント、食料品卸売業からは、「大雪の影響で夜の飲食店への客足が落ち込んでいる」とのコメント。自動車整備業からは、「除雪のために残業をするなど、大雪に伴う除雪、排雪費用の負担が増加している」とのコメントが寄せられた。  
 ○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月からマイナス幅が縮小する見込み。産業別にみると、建設はマイナス幅が拡大するものの、他の4業種は縮小する見込み。

全産業DI（前年同月比）の推移

	11年 9月	10月	11月	12月	12年 1月	2月	先行き見通し 3～5月
業況	▲ 44.4	▲ 30.2	▲ 41.9	▲ 30.4	▲ 27.7	▲ 41.0	▲ 32.3
売上	▲ 34.2	▲ 22.4	▲ 36.9	▲ 23.0	▲ 20.0	▲ 38.3	▲ 24.1
採算	▲ 38.5	▲ 29.3	▲ 34.4	▲ 28.4	▲ 22.5	▲ 39.6	▲ 28.0
資金繰り	▲ 30.8	▲ 20.4	▲ 23.8	▲ 19.3	▲ 17.7	▲ 29.1	▲ 26.3
仕入単価	▲ 31.0	▲ 24.6	▲ 22.2	▲ 22.4	▲ 22.5	▲ 24.8	▲ 24.2
従業員	▲ 1.7	1.7	▲ 3.8	▲ 3.0	1.5	▲ 8.2	▲ 3.0

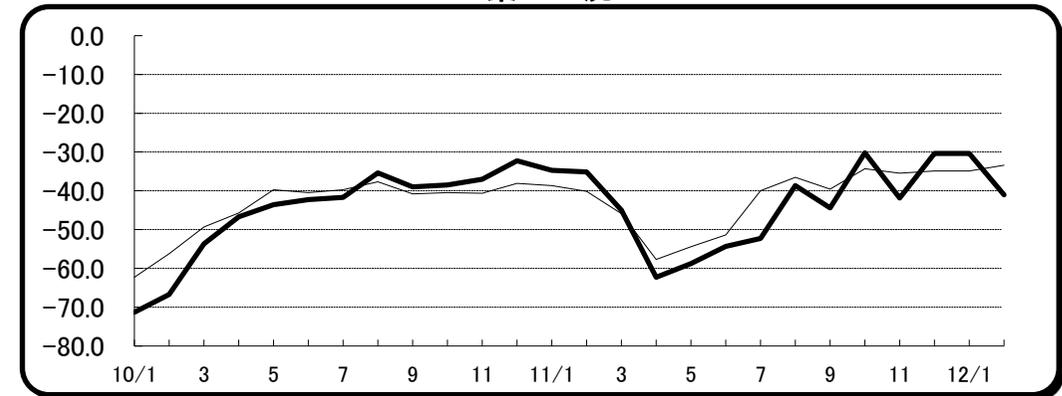
産業別業況DI（前年同月比）の推移

	11年 9月	10月	11月	12月	12年 1月	2月	先行き見通し 3～5月
建設	▲ 33.3	▲ 31.8	▲ 46.7	▲ 20.0	▲ 34.6	▲ 43.3	▲ 50.0
製造	▲ 32.1	▲ 3.6	▲ 24.3	▲ 21.9	▲ 6.7	▲ 28.6	▲ 14.3
卸売	▲ 33.3	▲ 80.0	▲ 50.0	▲ 41.7	▲ 21.4	▲ 35.3	▲ 23.5
小売	▲ 59.3	▲ 31.3	▲ 48.8	▲ 30.3	▲ 32.3	▲ 50.0	▲ 26.9
サービス	▲ 57.7	▲ 37.5	▲ 44.7	▲ 42.4	▲ 41.4	▲ 45.5	▲ 40.6

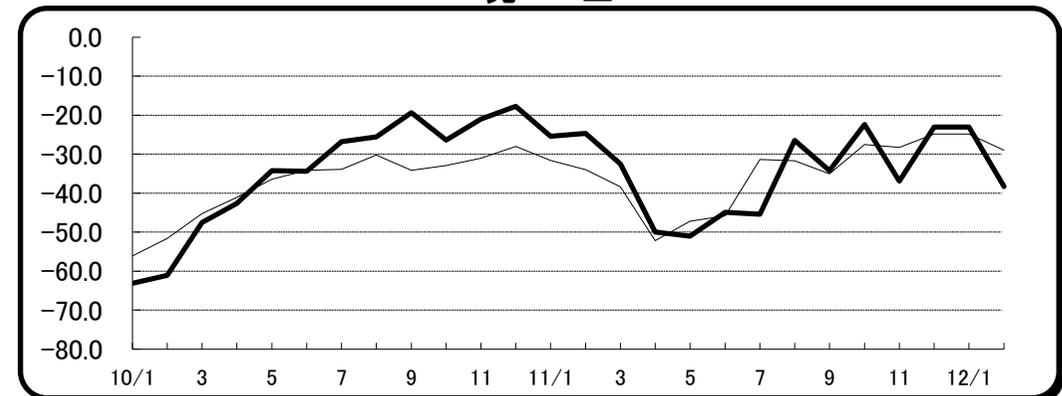
ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（北陸信越）

—— 北陸信越    —— 全国

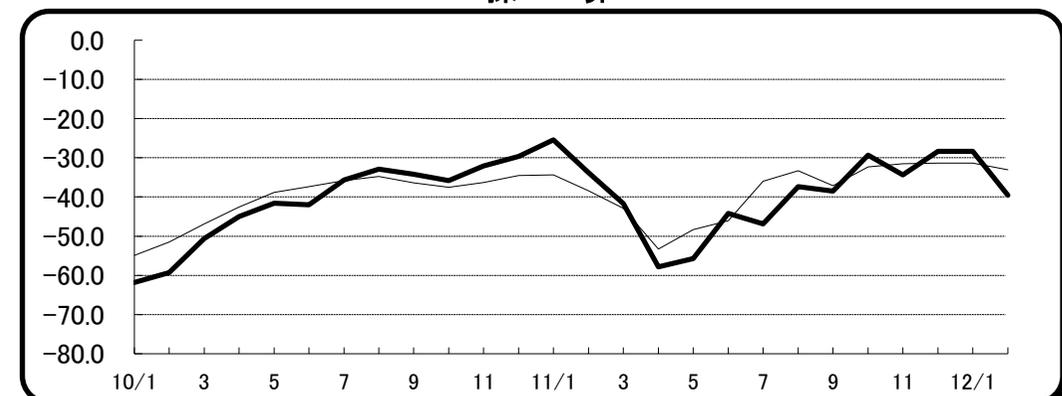
業況



売上



採算



【ブロック別概況・関東】

○全産業の業況DIは、前月と比べマイナス幅が悪化。産業別にみると、建設、サービスはマイナス幅が縮小、製造はほぼ横ばい、卸売、小売はマイナス幅が拡大した。  
 ○一般工事業からは、「復旧・復興工事に伴う人手不足、賃金上昇に加え、資材・材料の不足・価格高騰により利益確保が難しくなっている」との声、金属加工業からは、「原材料価格は依然として高止まりが続いており、値下がりの動きは見られない」とのコメント。パルプ製造業からは「被災地からの工場改修の引き合いが出始めた」とのコメント。飲食店からは、「農産地の大雪により葉物野菜の出荷量が減少、仕入価格高騰を懸念」とのコメントが寄せられた。  
 ○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べマイナス幅が縮小する見込み。産業別にみると、建設、製造はマイナス幅が拡大、卸売はほぼ横ばい、小売、サービスはマイナス幅が縮小する見込み。

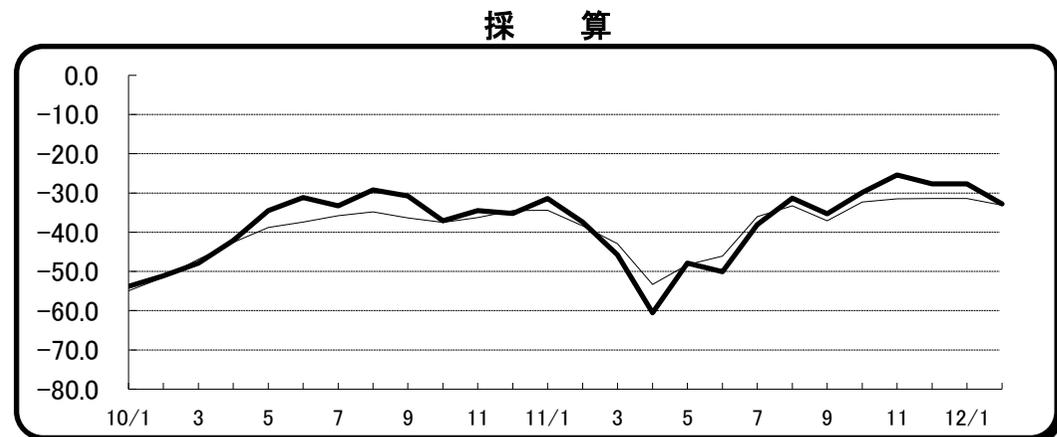
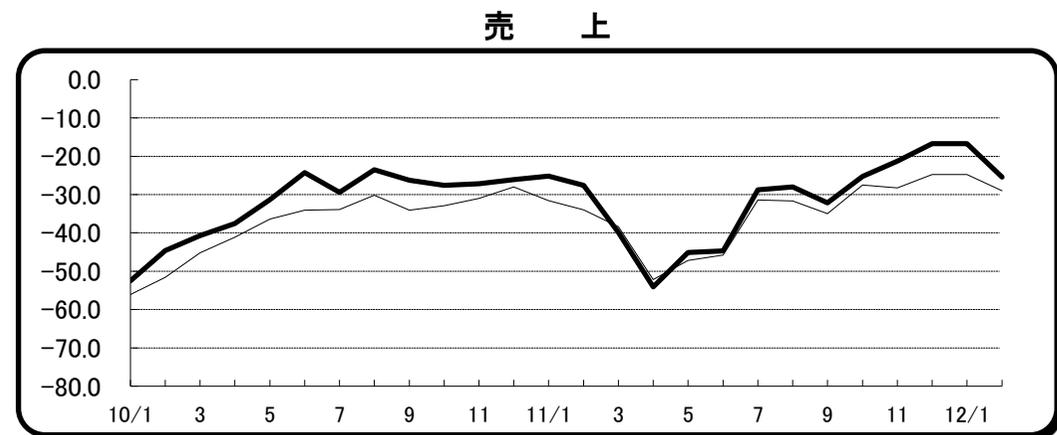
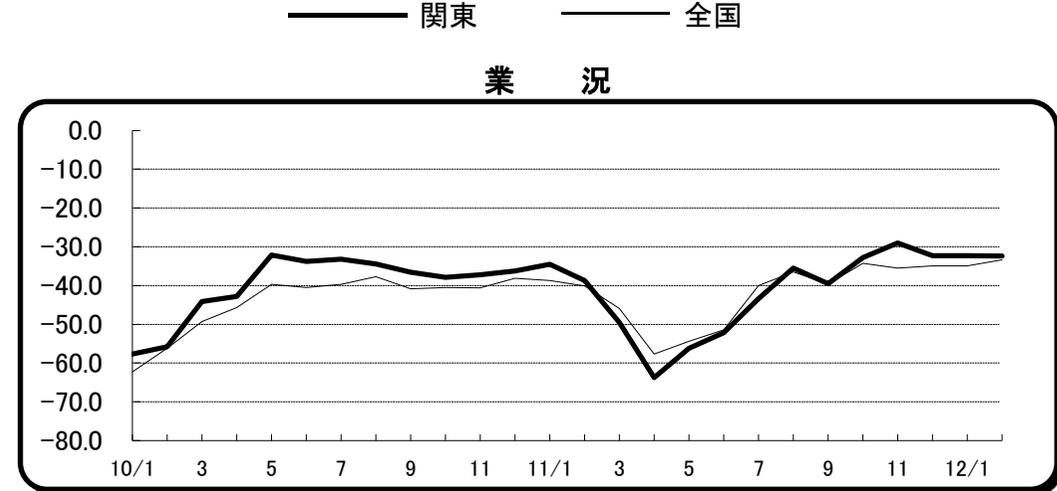
全産業DI（前年同月比）の推移

	11年 9月	10月	11月	12月	12年 1月	2月	先行き見通し 3～5月
業況	▲ 39.5	▲ 32.8	▲ 29.0	▲ 32.3	▲ 31.0	▲ 32.4	▲ 27.0
売上	▲ 32.2	▲ 25.3	▲ 21.3	▲ 16.7	▲ 23.1	▲ 25.4	▲ 18.1
採算	▲ 35.3	▲ 29.9	▲ 25.4	▲ 27.7	▲ 29.8	▲ 32.8	▲ 26.0
資金繰り	▲ 19.9	▲ 20.6	▲ 16.7	▲ 16.1	▲ 18.2	▲ 17.4	▲ 17.3
仕入単価	▲ 32.2	▲ 29.6	▲ 28.5	▲ 23.2	▲ 24.6	▲ 22.7	▲ 23.4
従業員	▲ 2.6	▲ 3.2	▲ 2.0	▲ 2.0	0.9	▲ 0.7	▲ 2.6

産業別業況DI（前年同月比）の推移

	11年 9月	10月	11月	12月	12年 1月	2月	先行き見通し 3～5月
建設	▲ 42.4	▲ 27.0	▲ 23.5	▲ 35.0	▲ 18.9	▲ 16.7	▲ 21.2
製造	▲ 34.3	▲ 23.2	▲ 19.3	▲ 12.2	▲ 27.2	▲ 26.6	▲ 28.7
卸売	▲ 34.5	▲ 21.4	▲ 28.6	▲ 32.1	▲ 18.8	▲ 21.6	▲ 21.6
小売	▲ 45.6	▲ 43.0	▲ 41.2	▲ 42.3	▲ 39.8	▲ 48.5	▲ 40.0
サービス	▲ 40.2	▲ 42.3	▲ 31.3	▲ 39.0	▲ 41.2	▲ 37.0	▲ 19.6

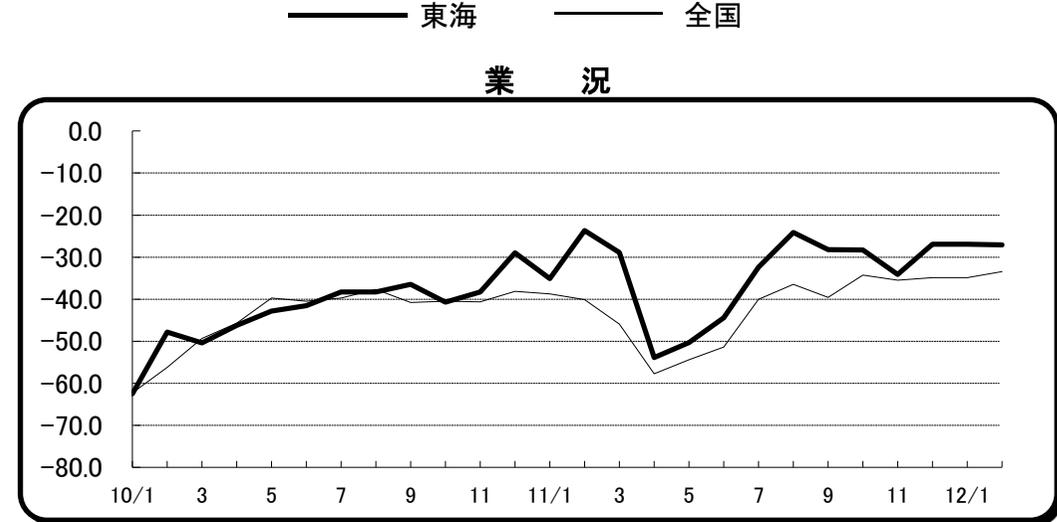
ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（関東）



【ブロック別概況・東海】

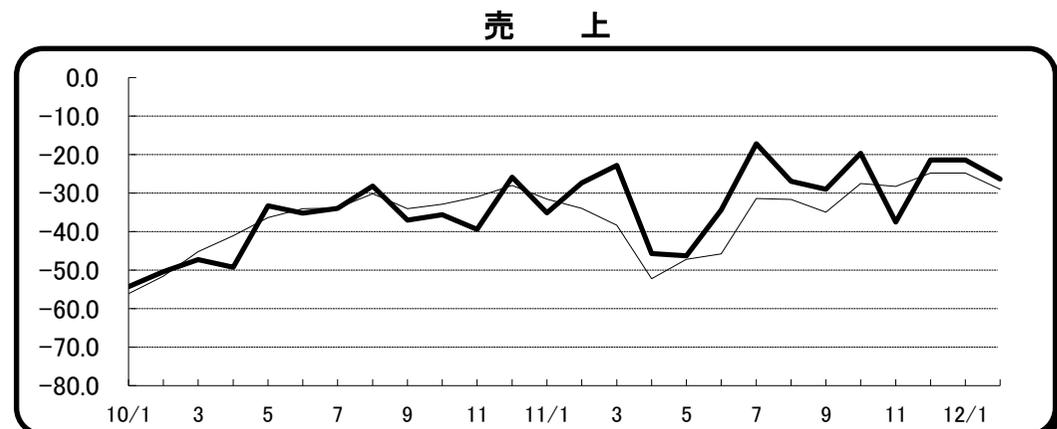
○全産業の業況DIは、前月と比べマイナス幅が拡大。産業別にみると、卸売はマイナス幅が縮小したものの、他の4業種は拡大した。  
 ○土木工事業からは、「住宅着工件数は前年比で減少しているが、自社はほぼ前年並み。しかし、単価が下がっており採算は悪化」とのコメント。プラスチック製品製造業からは、「円高で輸出が減少しているが、復興需要による国内向け出荷が増加傾向」との声、自動車部品製造業からは、「円高による影響で輸出比率の高い取引先の生産計画が落ちており、自社の受注に影響」とのコメント。ソフトウェア製造業からは、「期末の駆け込みで今月は売上が好調であったが、先行きは不透明」とのコメントが寄せられた。  
 ○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べマイナス幅が拡大する見込み。産業別にみると、建設、小売はマイナス幅が縮小するものの、サービス業は横ばい、製造、卸売は拡大する見込み。

ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（東海）



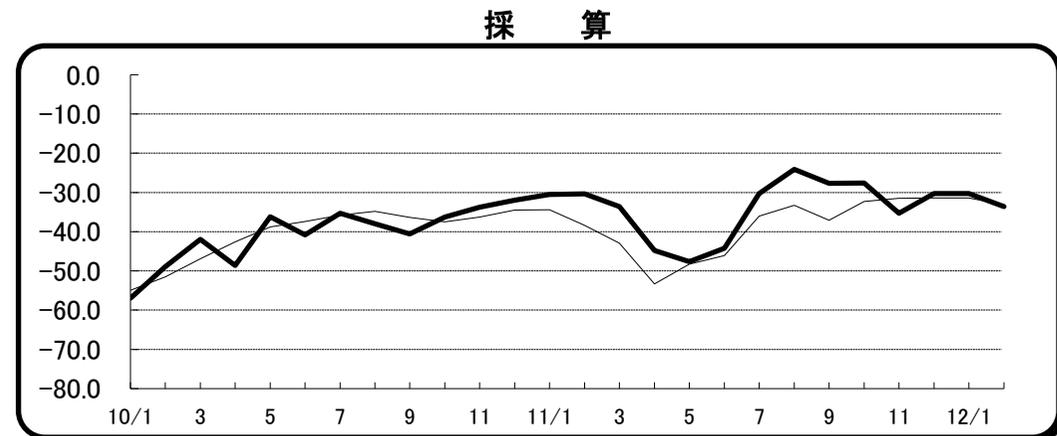
全産業DI（前年同月比）の推移

	11年 9月	10月	11月	12月	12年 1月	2月	先行き見通し 3～5月
業況	▲ 28.2	▲ 28.3	▲ 34.1	▲ 26.9	▲ 25.3	▲ 27.1	▲ 30.0
売上	▲ 29.0	▲ 19.7	▲ 37.5	▲ 21.4	▲ 26.0	▲ 26.4	▲ 15.0
採算	▲ 27.7	▲ 27.6	▲ 35.3	▲ 30.3	▲ 29.9	▲ 33.6	▲ 22.9
資金繰り	▲ 19.0	▲ 16.8	▲ 18.2	▲ 17.9	▲ 16.1	▲ 12.5	▲ 14.0
仕入単価	▲ 28.7	▲ 19.2	▲ 17.9	▲ 18.9	▲ 17.8	▲ 13.8	▲ 18.1
従業員	1.5	1.6	0.0	▲ 2.8	▲ 3.2	0.7	2.1



産業別業況DI（前年同月比）の推移

	11年 9月	10月	11月	12月	12年 1月	2月	先行き見通し 3～5月
建設	▲ 23.5	▲ 16.7	▲ 12.5	▲ 11.8	▲ 13.6	▲ 26.3	▲ 10.5
製造	▲ 18.9	▲ 21.9	▲ 24.4	▲ 21.4	▲ 15.9	▲ 19.0	▲ 33.3
卸売	▲ 46.7	▲ 60.0	▲ 64.3	▲ 47.4	▲ 38.9	▲ 25.0	▲ 37.5
小売	▲ 15.6	▲ 30.0	▲ 40.0	▲ 38.2	▲ 40.0	▲ 43.3	▲ 40.0
サービス	▲ 46.7	▲ 25.0	▲ 38.2	▲ 18.2	▲ 22.9	▲ 24.2	▲ 24.2



【ブロック別概況・近畿】

○全産業の業況DIは、前月と比べマイナス幅が縮小。産業別にみると、サービスはマイナス幅が拡大したものの、他の4業種は縮小した。  
 ○一般工事業からは、「小規模住宅の建設は増加傾向にあるが、受注単価が厳しい」との声、食品加工機械製造業からは、「被災地の食品工場での設備投資が増加傾向にある」とのコメント。百貨店からは、「雪、雨の天候悪化の影響で売上が減少。特に婦人・紳士衣料品が不調」とのコメント。倉庫業からは、「東日本大震災の教訓から支援物資の物流についての協議会が設立。物流施設のあり方について検討している」とのコメントが寄せられた。  
 ○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べマイナス幅が縮小する見込み。産業別にみると、建設、製造はマイナス幅が拡大するものの、他の3業種は縮小する見込み。

全産業DI（前年同月比）の推移

	11年 9月	10月	11月	12月	12年 1月	2月	先行き見通し 3～5月
業況	▲ 43.3	▲ 43.6	▲ 41.3	▲ 38.7	▲ 45.7	▲ 31.8	▲ 30.2
売上	▲ 46.7	▲ 37.6	▲ 30.6	▲ 31.0	▲ 37.4	▲ 31.8	▲ 25.3
採算	▲ 47.2	▲ 41.5	▲ 39.9	▲ 32.1	▲ 36.8	▲ 31.5	▲ 27.7
資金繰り	▲ 27.1	▲ 25.5	▲ 22.2	▲ 23.2	▲ 24.9	▲ 18.8	▲ 21.8
仕入単価	▲ 29.6	▲ 28.1	▲ 28.2	▲ 22.4	▲ 29.9	▲ 17.5	▲ 19.8
従業員	▲ 3.7	▲ 2.3	▲ 6.7	▲ 1.6	▲ 0.5	▲ 2.2	0.0

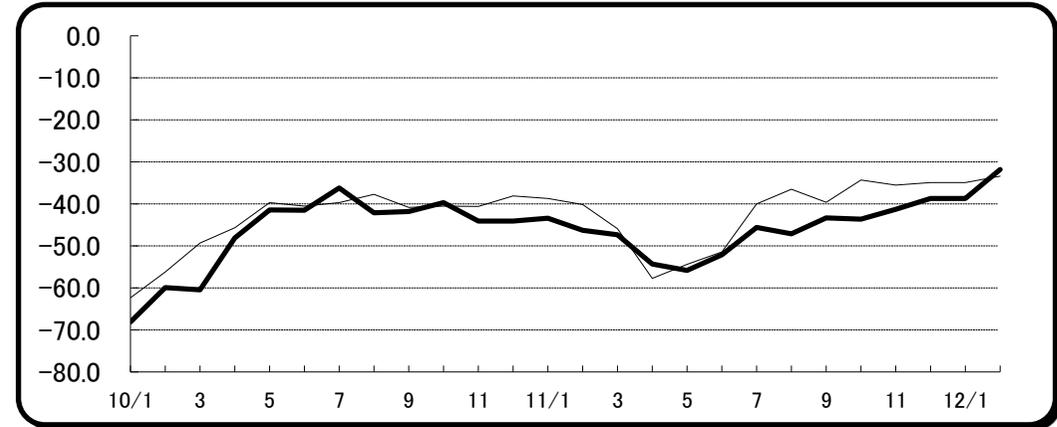
産業別業況DI（前年同月比）の推移

	11年 9月	10月	11月	12月	12年 1月	2月	先行き見通し 3～5月
建設	▲ 44.4	▲ 50.0	▲ 47.6	▲ 50.0	▲ 57.1	▲ 33.3	▲ 37.5
製造	▲ 34.9	▲ 39.1	▲ 34.7	▲ 18.2	▲ 30.4	▲ 17.0	▲ 28.3
卸売	▲ 18.8	▲ 35.3	▲ 17.6	▲ 18.8	▲ 21.4	▲ 6.3	0.0
小売	▲ 56.9	▲ 49.0	▲ 48.1	▲ 49.1	▲ 62.5	▲ 41.7	▲ 33.3
サービス	▲ 44.4	▲ 42.5	▲ 47.4	▲ 55.3	▲ 48.9	▲ 50.0	▲ 36.8

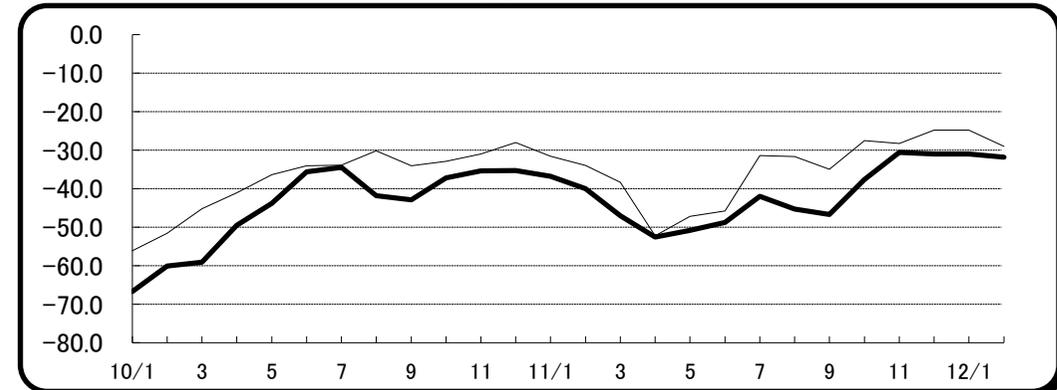
ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（近畿）

近畿 全国

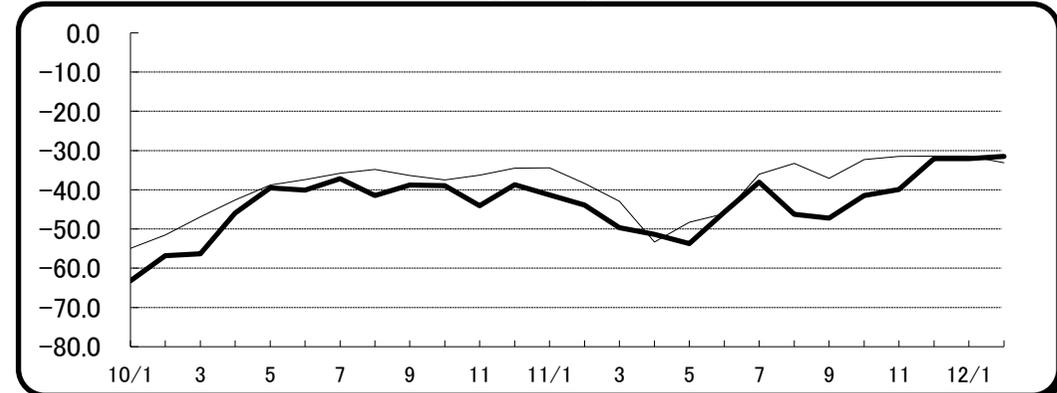
業況



売上



採算



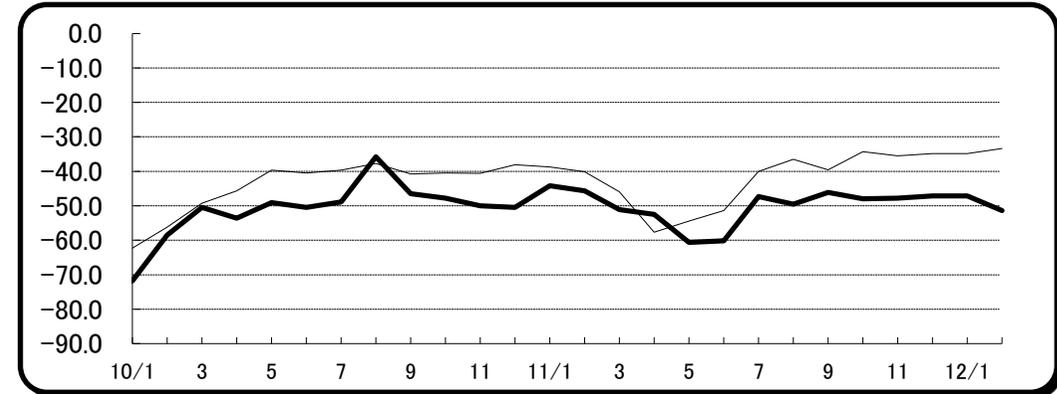
【ブロック別概況・中国】

○全産業の業況DIは、前月と比べマイナス幅が拡大。産業別にみても、全ての業種で拡大した。  
 ○一般工事業からは、「公共工事は減少傾向で低入札が続いており、先行きは暗い」とのコメント。金型製造業からは、「中国で提携した企業と合弁会社を設立。現地で金型を生産し、調達している」との声、水産卸売業からは、「漁獲量が前年比40%増加しており、仕入単価が下落している」とのコメント。旅館からは、「1、2月は悪天候により観光客の動きが鈍く、宿泊価格も下落傾向」とのコメントが寄せられた。  
 ○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べマイナス幅が縮小する見込み。産業別にみると、製造は横ばい、他の4業種は縮小する見込み。

ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（中国）

——— 中国      —— 全国

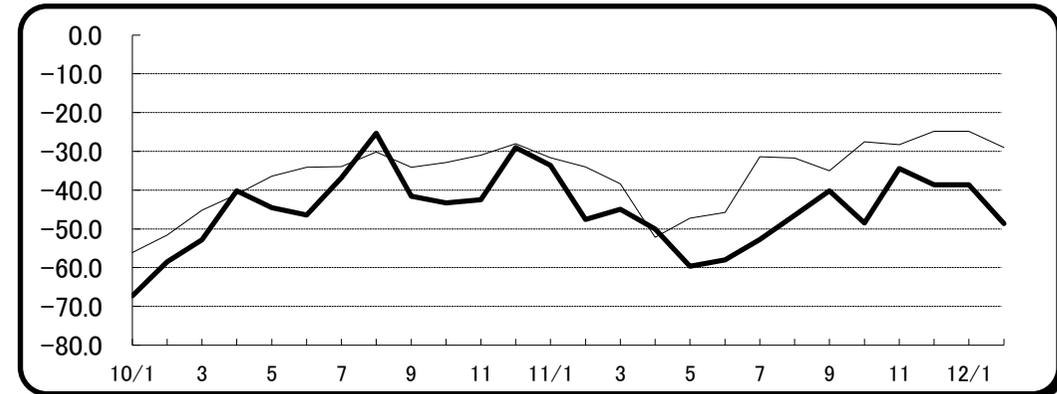
業 況



全産業DI（前年同月比）の推移

	11年 9月	10月	11月	12月	12年 1月	2月	先行き見通し 3～5月
業 況	▲ 46.1	▲ 48.0	▲ 47.8	▲ 47.1	▲ 41.1	▲ 51.4	▲ 37.4
売 上	▲ 40.2	▲ 48.5	▲ 34.4	▲ 38.6	▲ 43.9	▲ 48.6	▲ 29.0
採 算	▲ 36.3	▲ 41.6	▲ 32.2	▲ 29.5	▲ 36.4	▲ 43.9	▲ 28.0
資金繰り	▲ 30.7	▲ 31.6	▲ 33.7	▲ 29.9	▲ 25.5	▲ 28.3	▲ 28.3
仕入単価	▲ 14.9	▲ 22.2	▲ 21.3	▲ 20.7	▲ 12.3	▲ 15.2	▲ 12.4
従 業 員	▲ 13.7	▲ 17.0	▲ 14.4	▲ 18.2	▲ 19.6	▲ 16.8	▲ 13.1

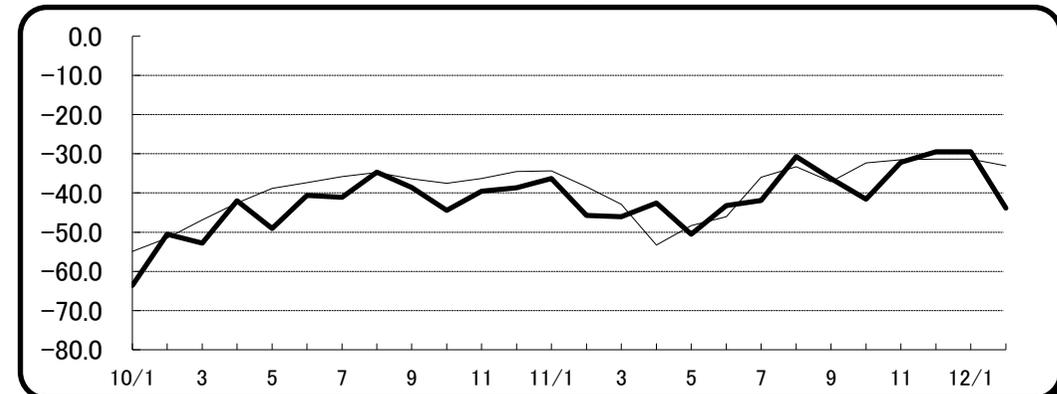
売 上



産業別業況DI（前年同月比）の推移

	11年 9月	10月	11月	12月	12年 1月	2月	先行き見通し 3～5月
建 設	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 18.2	▲ 40.0	▲ 42.9	▲ 53.8	▲ 38.5
製 造	▲ 28.1	▲ 26.7	▲ 40.0	▲ 35.5	▲ 32.3	▲ 34.3	▲ 34.3
卸 売	▲ 54.5	▲ 58.3	▲ 36.4	▲ 33.3	▲ 35.7	▲ 46.7	▲ 20.0
小 売	▲ 59.3	▲ 66.7	▲ 75.0	▲ 76.2	▲ 41.9	▲ 59.3	▲ 44.4
サービス	▲ 50.0	▲ 56.3	▲ 50.0	▲ 46.2	▲ 58.8	▲ 76.5	▲ 47.1

採 算



【ブロック別概況・四国】

○全産業の業況DIは、前月と比べほぼ横ばいで推移。産業別にみると、建設、サービスはマイナス幅が縮小したもの、他の3業種は拡大した。  
 ○一般工事業からは、「直接の取引ではないが、間接的に製品、部材の海外調達品が増加しているように感じる」とのコメント。建設・建築用金属製品製造業は、「電力不足が懸念されるため、自家発電設備の導入を検討」との声、衣料・日用品卸売業からは、「中国での人件費高騰の影響により仕入れ価格が上昇している」とのコメント。飲食店からは、「円高、原発事故の影響により海外からの観光客が減少し売上が落ち込んでいる」とのコメントが寄せられた。  
 ○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べマイナス幅が縮小する見込み。産業別にみると、全業種で縮小する見込み。

全産業DI（前年同月比）の推移

	11年 9月	10月	11月	12月	12年 1月	2月	先行き見通し 3～5月
業況	▲ 42.1	▲ 31.5	▲ 44.2	▲ 46.3	▲ 38.0	▲ 37.6	▲ 23.9
売上	▲ 45.6	▲ 28.8	▲ 37.2	▲ 36.1	▲ 32.4	▲ 26.5	▲ 17.9
採算	▲ 45.6	▲ 31.5	▲ 33.6	▲ 41.7	▲ 37.0	▲ 36.8	▲ 24.8
資金繰り	▲ 22.8	▲ 15.3	▲ 23.9	▲ 24.1	▲ 28.7	▲ 24.8	▲ 20.5
仕入単価	▲ 33.3	▲ 29.7	▲ 28.3	▲ 29.6	▲ 25.9	▲ 23.1	▲ 22.2
従業員	▲ 9.6	▲ 7.2	▲ 6.2	▲ 4.6	▲ 6.5	▲ 1.7	0.9

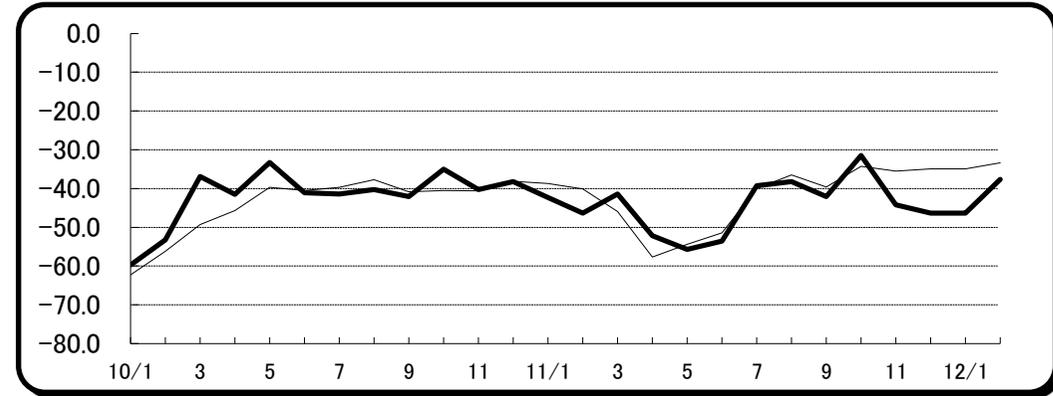
産業別業況DI（前年同月比）の推移

	11年 9月	10月	11月	12月	12年 1月	2月	先行き見通し 3～5月
建設	▲ 65.0	▲ 55.0	▲ 45.0	▲ 58.8	▲ 61.1	▲ 47.4	▲ 42.1
製造	▲ 30.0	▲ 17.2	▲ 39.3	▲ 37.9	▲ 30.8	▲ 32.3	▲ 9.7
卸売	▲ 70.0	▲ 50.0	▲ 12.5	▲ 60.0	▲ 22.2	▲ 33.3	0.0
小売	▲ 39.3	▲ 25.0	▲ 58.6	▲ 51.9	▲ 44.4	▲ 48.3	▲ 41.4
サービス	▲ 30.8	▲ 30.8	▲ 42.9	▲ 36.0	▲ 28.6	▲ 27.6	▲ 17.2

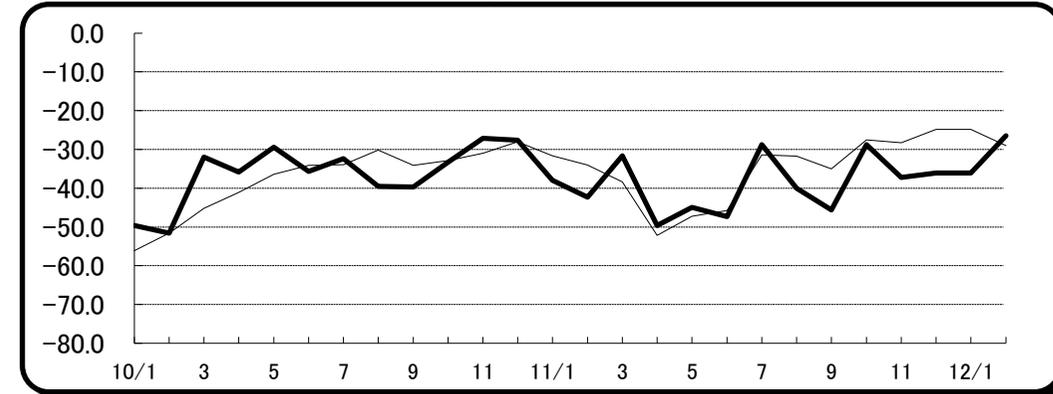
ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（四国）

——— 四国      ——— 全国

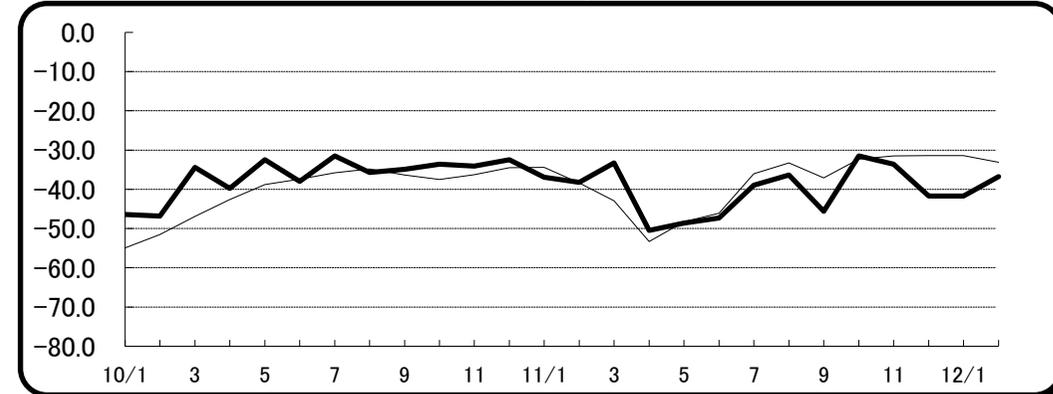
業況



売上



採算



【ブロック別概況・九州】

○全産業の業況D Iは、前月と比べマイナス幅が縮小。産業別にみると、小売、サービスはマイナス幅が縮小したもの、他の3業種でマイナス幅が拡大した。  
 ○一般工事業からは、「企業の設備投資の好転は見られず厳しい状況ではあるが、新幹線の新駅に伴う都市計画道路の整備により、住宅建設に期待している」とのコメント。金属加工業からは、「取引先企業の海外移転、海外調達が急速に進んでおり、自社の受注への影響を懸念」との声、料亭からは、「希望する人材、特に若い人材の確保が難しい状況が続いている」とのコメント。ビル管理業からは、「電力の供給に不安を感じており、業務の見直しを検討している」とのコメントが寄せられた。  
 ○業況の先行き見通しD Iは、全産業では今月からほぼ横ばいとなる見込み。産業別にみると、小売はほぼ横ばい、サービスは悪化するものの、他の3業種はマイナス幅が縮小する見込み。

全産業D I（前年同月比）の推移

	11年 9月	10月	11月	12月	12年 1月	2月	先行き見通し 3～5月
業況	▲ 47.2	▲ 42.5	▲ 45.1	▲ 44.4	▲ 33.1	▲ 29.5	▲ 30.0
売上	▲ 35.8	▲ 32.4	▲ 32.6	▲ 33.3	▲ 19.0	▲ 20.8	▲ 16.9
採算	▲ 35.2	▲ 41.9	▲ 43.0	▲ 43.7	▲ 27.7	▲ 25.4	▲ 19.2
資金繰り	▲ 37.8	▲ 28.9	▲ 28.9	▲ 29.6	▲ 28.4	▲ 15.5	▲ 17.7
仕入単価	▲ 33.6	▲ 37.3	▲ 26.2	▲ 25.4	▲ 34.8	▲ 24.8	▲ 17.1
従業員	▲ 8.1	▲ 11.0	▲ 5.6	▲ 7.4	▲ 2.8	1.6	▲ 1.6

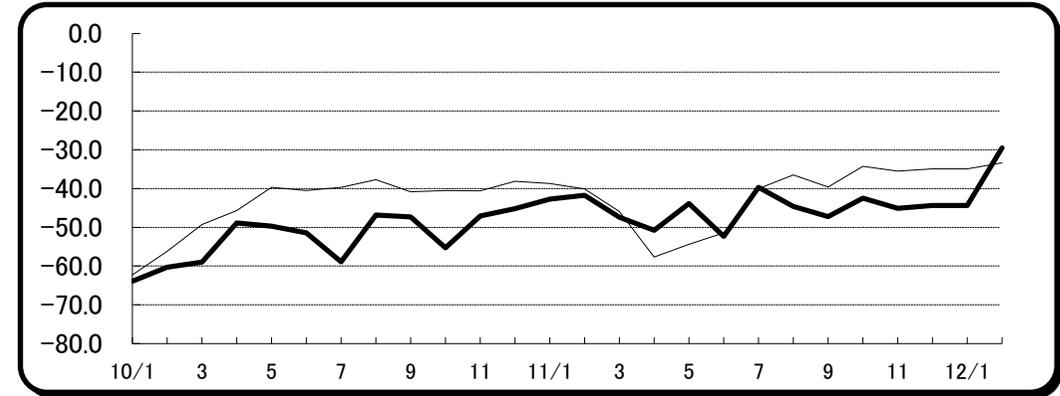
産業別業況D I（前年同月比）の推移

	11年 9月	10月	11月	12月	12年 1月	2月	先行き見通し 3～5月
建設	▲ 45.0	▲ 54.2	▲ 58.3	▲ 65.2	▲ 43.5	▲ 70.0	▲ 57.1
製造	▲ 43.3	▲ 39.3	▲ 41.9	▲ 46.4	▲ 43.3	▲ 46.4	▲ 28.6
卸売	▲ 30.8	▲ 38.5	▲ 69.2	▲ 35.3	▲ 11.8	▲ 31.3	▲ 25.0
小売	▲ 57.6	▲ 32.4	▲ 41.0	▲ 52.8	▲ 40.0	▲ 26.5	▲ 26.5
サービス	▲ 48.1	▲ 50.0	▲ 34.3	▲ 22.6	▲ 21.6	9.7	▲ 19.4

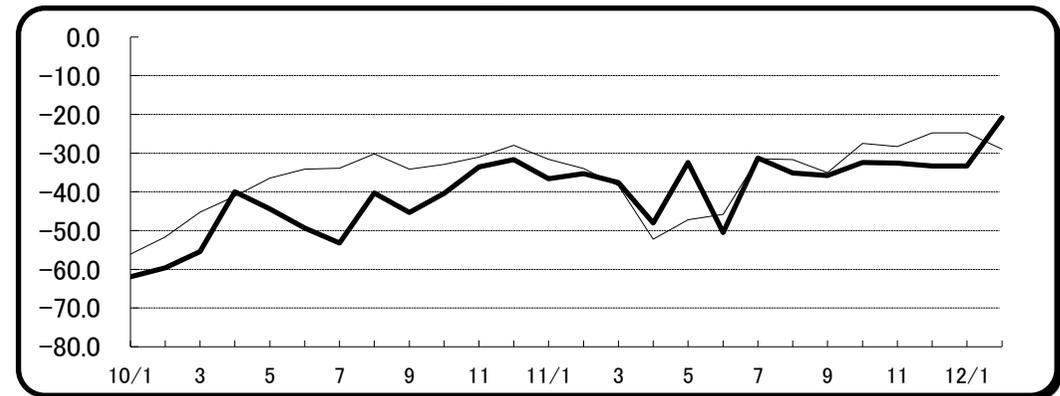
ブロック別全産業D I（前年同月比）の推移（九州）

九州 全国

業況



売上



採算

